

公益財団法人国立京都国際会館 備品リユースのための 販売・譲渡について

(公財) 国立京都国際会館
備品販売・譲渡受付係
E-mail: info@icckyo.or.jp
Phone: 075-705-1205

はじめに

今回、販売・譲渡させていただく備品は、長きにわたり活躍しましたが、会議スタイルが時代とともに変化したため、当館での活躍の場は失ってしまったものです。

廃棄処分するより、新たにご活用いただける方にお譲りしたいと考え、販売・譲渡させていただく運びとなりました。

なお、これらの備品は公益財団法人国立京都国際会館が所有する財産であり、国有財産ではありません。

購入、譲受ご希望前に、以下を必ずご確認ください。

(備品について)

- ・掲載写真は、複数在庫のうちの一つとなります。
個体差がございます。傷、汚れ、破れ、破損の程度も1点ずつ異なります。また中古品のため、劣化しているものもございます。ご了承の上、購入／譲受ください。
- ・備品の汚れが取れるかどうか不明です。当館は修理を行いません。現状有姿渡しとなりますので予めご了承ください。
- ・重さの計量は行いません。
- ・採寸には計測誤差がある場合がございます。

(発送・運搬・受取について)

- ・発送は承っておりません。国立京都国際会館にご来館のうえで引き取り可能な方のみご購入・譲受いただけます。
- ・備品は、当館の備品置き場（本館4F）にて保管しております。搬出口への運搬も購入／譲受者様にて行っていただきます。複数人でしか運搬できないほど重いためご注意ください。
また、館内運搬時に当館フロア等建物が損傷しないように養生等も行っていただく必要がございます。予め承知おきください。
- ・契約締結後、原則、14日以内の備品お引取りをお願いします。但し、国立京都国際会館の実施催事により入館制限のある日をまたぐ場合は、ご相談させていただきます。

(現物確認について)

- ・ご購入／譲受希望のお申出の前に、必ず現物確認をお願いします。
現物確認は、国立京都国際会館OPEN DAY 10:00-17:00にのみ承っております。ご予約の上でご来館ください。
OPEN DAYの日程は、国立京都国際会館HPに掲載しております。
<https://www.icckyo.or.jp/>
ご予約は、info@icckyo.or.jpまでお願いします。頂いたメールへのご返信で予約完了となります。
万一に返信がない場合は、メール再送又はお電話（075-705-1205）をお願いいたします。
メールは、以下の内容に沿って送信してください。

件名：備品確認希望

本文；

氏名

団体名（団体で購入ご希望の場合のみ）

団体のHP（団体で購入される場合でHPがある場合のみ）

住所

電話番号

来館希望日時（OPEN DAYに限る）

確認希望備品名

お車での来場あり／なし

その他連絡事項

(応募について)

- ・現物確認の後、ご購入／譲受をご希望の方は、info@icckyo.or.jpまで、以下の内容に沿って送信してください。受付期間は、2024年5月21日～2024年8月31日です。
- ・メールへのご入力内容が不明確な場合等は、譲渡決定前にご質問のメール／お電話をさせていただく場合がございますので、予めご承知おきください。

件名：備品購入／譲受希望

本文；

氏名

団体名（団体で購入される場合のみ）

団体のHP（団体で購入される場合でHPがある場合のみ）

住所

電話番号

希望備品名

* 複数品をご希望の場合は全てをお知らせください。

* 議席机をご希望の場合は、(大)、(小)、(大／小どちらでも良い)をお知らせください。

数量

* 複数品をご希望の場合は全てに対する数量をお知らせください。

希望数量に満たない数量の譲渡でも譲受を希望する／しない

希望金額

* 複数品をご希望の場合は全てに対する金額をご提示ください。

* 備品ページに記載しております「開始価格」以上の税抜単価金額でお知らせください。
金額は100円単位で設定ください。100円に満たない金額は0円として処理します。

（例 101円→100円として処理。）

ご請求額にはご希望金額に消費税が加算されます。

使用用途

* 複数品をご希望の場合は全てに対する用途をお知らせください。

その他連絡事項

(譲渡先決定について)

- ・ご希望者の中から、原則、ご希望金額の高い順に譲渡いたしますが、在庫を減らすために順序が変わる場合がございます。
ご希望金額が同額の場合は、使用用途等を勘案した上で譲渡先を決定いたします。ご使用用途が当館の想定するものから大きく異なる場合は、譲渡をお断りする場合がございます。
- ・募集期間中、終了後ともに、最高申出金額は公表しませんので、ご質問はお控えください。
- ・譲渡させていただく方には、2024年10月30日までにメールにてご連絡させていただきます。譲渡者決定メールへのご返信がない場合は、お電話でご連絡させていただく場合がございます。

(個人情報の取り扱いについて)

- ・お預りした個人情報は、当該備品譲渡に関するご連絡先としてのみ利用させていただきます。
お預かりした個人データの保存期間は、原則として譲渡業務終了日から6ヵ月以内とします。
保存期間が終了した個人データは完全に消去または廃棄致します。

2024年5月吉日

備品番号 1

品名 ピジョンボックス (縦5列×横3列)

素材 ボックス部分：木
脚：不明

寸法 ボックス全体 87W×37D×105Hcm
* 足の高さ30cm

在庫数 3台

購入年 1966年

デザイナー 剣持勇

開始価格 ¥1,000

Photo 1-1



Photo 1-2



一言メモ

インターネットが普及する前、会議での主流な連絡手段の一つはピジョンボックスへの文書投函でした。こちらの備品は、主に会議事務局部屋で使用され、情報集約に大変活躍しました。会議運営歴史の変遷を辿ることができる貴重なものとなります。

六角椅子をはじめとする当館の主要な調度品を手がけた剣持勇氏によるデザイン。

木製部分に程よく風合いがでております。また、横板は取り外し・高さ調節可能なため、ディスプレイ用等にお薦めです。

備品番号 2

品名 ピジョンボックス (縦10列×横3列)

素材 ボックス部分：木
脚：不明

寸法 ボックス全体 87W×37D×180Hcm
* 足の高さ30cm

在庫数 5台

購入年 1966年

デザイナー 剣持勇

開始価格 ¥1,500

Photo 2-1



備品番号 3

品名 議太机(大) / 議太机(小)

素材 天板：木
ボディ：不明、スチール

寸法 (大) 天板 200W × 75D × 6Hcm
ボディ 161W ~ 186W × 48D × 68Hcm
(小) 天板 170W × 55D × 6cmH
ボディ 132W ~ 153W × 38D × 68Hcm

※ボディWは左右の側面が徐々に外側へ広がっているため最短～最長の寸法を記載

在庫数 (小) 26台
(大) 2台

購入年 1966年

デザイナー 剣持勇

開始価格 ¥500 * (大)、(小)同価格

Photo 3-1

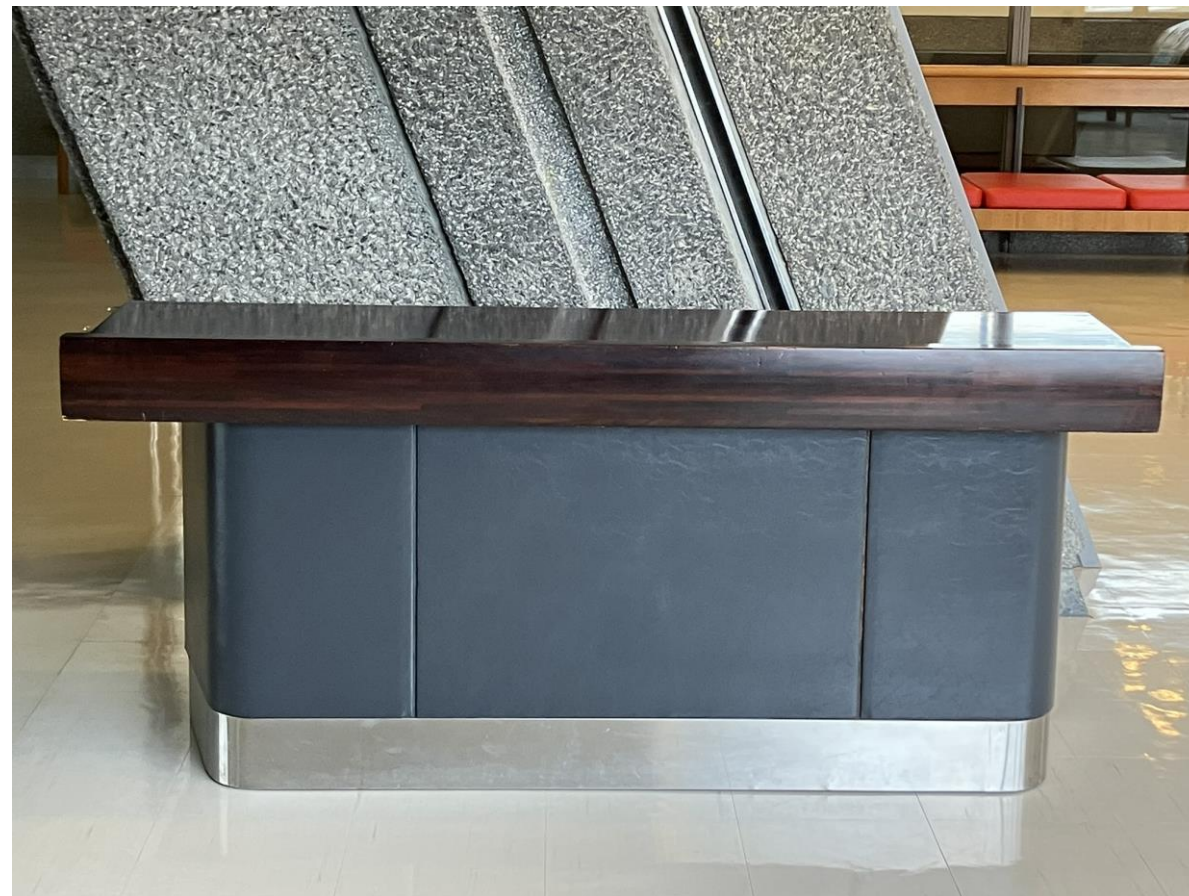


Photo 3-2



Photo 3-3



一言メモ

本館で1-2番目に広いMain Hall、RoomAで主に使用されてきたもので、数々の重要な国際・政府間会議で登場した備品です。
現在では入手困難なローズウッド（紫檀）が使用されており、格式高い会議場に合うようにデザインされています。

備品番号 4

品名	金屏風（六曲一隻）
素材	枠：不明 ボディ：紙
寸法(1曲サイズ)	69W×2.2(厚さ)×209Hcm ローラー：1Hcm
在庫数	2台
購入年	不明
デザイナー	不明
開始価格	¥0

Photo 4-1



Photo 4-2



Photo 4-3



一言メモ

当館宴会場サクラ・スワンでの宴席のほか、会議室での重要な発表・演出時に活躍しました。

学校での発表等で活躍するかも？

備品番号 5

品名 デスクチェアー

素材 ボディ：合皮の可能性が高いです。
脚：不明

寸法 座椅子 44W×56Dcm
背もたれ 73W×55Hcm
肘掛 44W×10Dcm
脚 38Hcm、直径60cm

* 座椅子の高さ調整可能、リクライニングなし。

在庫数 36脚

購入年 1996年

メーカー Artifort（アーティフォート）とのライセンス契約にて株式会社ハウトクが製作

デザイナー Geoffrey D. Harcourt
(ジェフリー・ハーコート)

開始価格 ¥3,000

Photo 5-1



Photo 5-2



一言メモ

134年の歴史を誇るオランダArtifort社製。Artis（芸術）とFortis（力強さ）を象徴する世界的に有名なブランドです。

職人技とハイテク生産技術を用い、次世代に向けて永続的な高品質の家具を生産されており、耐久性があるだけでなく、時代を超越したデザインが特徴です。

こちらの椅子は、重要な国際会議で使用されたものとなります。

落ち着いた色合いのため、多くのお部屋にマッチすると思います。

備品番号 6

品名	立脚灰皿
素材	不明
寸法	丸灰皿 外側直径16cm、9Hcm 全体 60Hcm
在庫数	12台
購入年	不明
デザイナー	不明
開始価格	¥0

Photo 6-1



Photo 6-2



一言メモ

会議の合間の休憩時間に喫煙所で使用されていましたが、喫煙場所が制限されるようになり、こちらは使用されなくなりました。

この灰皿を囲んで重要事項について議論された可能性も、、、。